

那珂市議会教育厚生常任委員会記録

開催日時 令和7年7月31日（木）午後1時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 寺門 厚 副委員長 花島 進
委員 榊原 一和 委員 原田 悠嗣
委員 鈴木 明子 委員 富山 豪

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

事務局長 会沢 義範 次 長 萩野谷智通
書記 田村 栄里

会議に付した事件

（１）調査事項について

…要望内容について協議

議事の経過（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午後1時00分）

委員長 こんにちは。先日はカムチャツカ半島の地震の影響で、津波警報が発令されて1日中、朝から夕方まで、本当に来るのかどうかということも含めて、大変な1日だったかと思います。

また、原子力安全対策常任委員会は、まさにご当地に近いところ、宮城県のほうへ視察ということで、大変な1日でしたというふうに思います。

そういう意味で、旅先で災害に遭うかもしれませんので、やっぱり情報等それから正しい行動というのを、いつも念頭に置いて行動いただければなというふうに思います。

開会前にご連絡いたします。換気のため廊下側のドアを開放して常任委員会を行います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

会議は公開しており、傍聴可能といたします。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。

会議の発言に際しましては必ずマイクを使用し、質疑、答弁の際は簡潔かつ明瞭をお願いいたします。携帯電話をお持ちの方は、必ず電源を切りいただくかマナーモードにご協力をお願いします。

ただいまの出席委員は6名でございます。欠席はございません。定足数に達しておりますので、これより教育厚生常任委員会を開会いたします。

職務のため、議会事務局職員が出席をしております。

本委員会の会議事件は、サイドブックスに掲載のとおりであります。

これより議事に入ります。

調査事項にありました、学校給食についてを協議したいと思います。

当委員会の調査事項、学校給食につきましては、まとめの時期になりました。方法としては、これまでの調査についてまとめた要望書を市に提出するか、報告書を議長に提出するかになると思いますが、要望書という意見が以前から出ておりましたので、要望書を9月の定例会で市長、教育長に提出したいと思います。

これまでの調査を踏まえどういった点を要望していくか、事前に委員の皆様に、依頼をしておりました。いただいた内容は、サイドブックに掲載をしております。この中から何を要望書に入れるのか、ご意見をお願いしたいと思います。

これまでの視察を踏まえて、皆さんからいただいた意見が8件ほどございます。

1番から、順番に確認をしていきたいと思います。

最初は食材ということで3つほど、まず1番目、食材の選定は単に安いものを優先するのではなく、質や量も重視してほしいということですね。これが要望書に入れるかどうか。

もう一つ食材については、3項目になってますんで、2番目の地産地消の推進、3番目、農家やJAなど関係機関との連携強化をしてほしいということで、3つ出ております。

これについていかがでしょうか。

榊原委員 1番の食材の選定は単に安いものを優先するのではなく、質や量も重視してほしいというところなんですけど、現状の話で言えば、食材云々ももちろんこれ食材高騰ということでもかなり高騰しちゃってるのがもう現状の話なんですよ。そうなってくると、やっぱり果たしてこの1番のところは、もうこれは、安いものを優先する、そもそもそういう論理はないと思いますので、質や量のところはちょっと検討いただくところはあるとは思いますが、安いものを優先するのではなくってというのは必要ないのかなというふうに私は思います。

原田委員 同じく1番のところで、質や量を重視してほしい。

(複数の発言あり)

富山委員 1と2、これ一緒にならないですかね。

地産地消を推進していただき、質や量を、も、でも重視してほしいというような形で一つになるのかなんていうのは感じます。

副委員長 私、両方入れていいと思うんですが、安いものを優先にするっていうのは入れなくてもいいけど、ただあんまり文章つなげないほうがいいと思う。ちゃんと切っていったほうが読みやすいと思いますね。いろんな運動なんかでやったらつなげる人がいてね。そのほうがいいと思っちゃう人が結構いるんですよ。文章としてだよ。でも、切れるものは切ってもいいし、場合によっては普通の話し言葉だったら、長く言っちゃうこと

でも、一旦切ってやったほうが読むほうとしては読みやすいと思います。

鈴木委員 私も皆さんのご意見と同じで、1、2、3全て必要だと思うことと、安いもの優先というところを抜かせば、そのままの文章でよろしいのではないかと思います。

委員長 分かりました。1、2、3とありまして、それぞれ単独で、1番目は単に安いものを優先、これを除外して、食材の選定については質や量を重視してほしいと。

1、2連結をしてということなのですが、文章を2つ合わせちゃうと、食材の選定については地産地消の推進し、質や量も重視をしてほしい。

鈴木委員 先ほどの副委員長がおっしゃったように要望書として、簡潔に出すのであれば別れてもいいのかなと、でなければもう全て一緒にできるのかなというか、農家やJAなど関係機関と連携して、食材の選定は、地産地消を使ってみたいにできるけども、パンパンパンというふうな形でやるのも一つなのかなと思います。

委員長 要望書ですので、文章に長々とだらだらと書かないで、項目をそのまま、簡潔に3つ並べるということでしょうか。

副委員長 実際に文章にする必要があるよね。

委員長 箇条書きでもいいですよ。要望は。

副委員長 最終的に仕上げる委員長の意向で。

委員長 いやいや。文章にします。

(複数の発言あり)

書記 今までの書き方だと要望書は、項目がいくつかあって、例えば1番何々の充実、その下に、何で充実が必要なのかっていうのを、文書で書いていただく。

例えば食材が一つ目だったら、二つ目、人員が入るのであれば、人員の何々。それについても文書が入っていくっていうのが、今まで、よくあるスタンダードな要望書の書き方にはなります。

委員長 今までのスタイルはそう文章方式で何々であるとか何々を要望するという、ですます調で書いておりましたけれども、その辺はちょっとまとめてみましょう。

ということで、食材については3つですね。

それで一つ、規格外の野菜の処理してほしい、使ってほしいなっていうのがあるんですが。

副委員長 書いてありますよね。

委員長 もう一つは2交代でやってるんで、時間的な余裕がない。2交代っていうのは、小学校の分と中学校も同じところの釜で使ってるんで。よその、今まで見てきたところは1回しかやってないですから、そこは難しいところ。要望をやっぱり基本的には、せっかくの農家がつくったやつを使ってほしいんで、はねずに。

副委員長 4番の人員の問題とも関係あるんですよ。下処理しやすい食材だったら、手間が若干減るから。

榊原委員 人員の適正って言うんだけど、もちろんこれ要望としては全然、適正かとは思
うんですけども、現状我々那珂市の場合は、学校給食センター、昨年から外注に委託
してるわけですよ。予算化してて、結局やるやらないっていうのが、外注の結局民間企
業という形になってきますから、ちょっとそこのところも加味した上での話になると私
は思うんですけども。

副委員長 それはそうなんですけど、でも何をやらせるって言ってそのためにどれくらいの労
力が必要でっていうので契約になるんだから、那珂市が例えば余計なこと、今までやっ
てなかったことを、やらせるとなったら、当然、委託料も増えるってことです。だから
それを考えた上で、プランニングしてほしいと。

鈴木委員 先ほど2部制の話が出てきたんですけど、那珂市に視察に行ったときに、小学校と
中学校で献立を変えるっていうのにはどのような理由があったのかっていうのを、もう
一度ちょっと確認したいなって思うんですけど。

(複数の発言あり)

鈴木委員 リスク回避のためって那珂市のほうでやってますけれども、他の視察に行ったとこ
ろでは、そのような考え方ではなくということだったと思うんですが。1部、2部に分
けることが本当にいいことなのかどうかっていうのか、ちょっとそこも検討いただきた
いっていうのは、思います。

委員長 暫時休憩します。

休憩（午後1時13分）

再開（午後1時40分）

委員長 再開いたします。

先ほど食材については、まとめということで、一度終わりましたので、続いて人員に
ついてですね。

榊原委員 人員の適正もちろんさることながらなんですが、本市の場合、外注ということで今
給食センターに給食会社が入っておりますので、そことの行政と要は民間会社とのコミ
ュニケーションをきっちり取ってもらってというところもつけ加えていただけるとあり
がたいです。

副委員長 何が問題なのか全然分かんないんで、入れて下さいとか、入れていいですってなか
なか言いにくいんですよ。

榊原委員 多分、給食センターの職員と民間企業の給食会社の考え方にちょっと相違がやっぱ
りあるのかなという、感想です。いろいろな情報集約の中で私が。

富山委員 榊原委員の言っていることは分かるんですけど、そこは給食センターと委託業者の
中での関係性なので、我々がどうこうはないけど、そこはこの要望書とはまた別として
押さえておく分にはいいと思いますけど、要望書には直接的にはそこはあれかなと思う
部分が、私の中には。

理解する部分ですけど、その関係をよく理解した上で、これは我々の範疇を超えてる部分が。

副委員長 ここで決着ついちゃうそうなんですけど、あえてしつこく聞いちゃうんですけど、要するに契約にないようなことまでやらせるということですか。

榊原委員 どう答えていいのかわちよっと何とも申し上げないんだけど、そういうことになるんでしょうね、やっぱり。

（複数の発言あり）

委員長 常任委員会からの要望ということではなく、それについては、教育委員会のほうにちよっと話を別途するということで対処したいと思います。

こちらからの要望については、人員の適正化というか、これはこのままで……

副委員長 さっきの鈴木委員への反論じゃないんですが、何をやるかと人員というのがリンクしてるんで、いろんな要望事項を挙げた中で、必要な人員を考えろという提案のほうがいいと思う。

ただ単に今の人員が適正かって言ったら今のやり方では人員が適正。

富山委員 副委員長の言うとおりで、これらをするために、適正な設備と適切な人員が確保されるべきであるっていうのは、加えておいたほうがいいのかなくて。

同じ意見です。

委員長 括弧書きで、加工品や化学調味料に頼り過ぎない。これは出汁をつくる1例が書いてあるんですね。こういった例を挙げて、対応できるような人員対応ができれば望ましいということなんだろうと思いますね。そういう内容でよろしいですかね。

続きましては、食育人員。これについては、給食を楽しめるものに努力を一層してほしいっていうことですか、食生活、大人の平均的な食生活は塩分の取り過ぎが多い。

適正な塩分で、おいしい給食が、できればという話なんですけれども。

富山委員 これ細かく書いてくれたこと物すごくありがたいことなんですけど、これ食育の充実として文言に入れればいいのかなくて。ここまで細かく、内容までこう指摘しながらじゃなくて、やっぱり子供たちの給食も学びの場であるから、食育のさらなる充実を図っていただきたいっていうのは、要望書に加えてもいいのかなって。

ただ、ここまで細かく書かなくてもいいのかなとは思います。

副委員長 私これ書いたんですけど、あんまりその食育の充実って漠然としたよりも、これはとにかく単に楽しめるってことと、当面の一つの目標として、塩分の適正化ということ言ってるだけなんで、それでいいと思うね。

富山委員 シンプルにしたほうがいいのか。

副委員長 いや、これそのまま文章してもいいかなっていう気がするんだけど。

人材については、さっき言った人員の話と、まとめて後でそっちに入替えてやるくらいで、ほかのいろんな先進的な事例を見ていると、位置づけやっぱり違うんですよ。そ

こを無視して、我々が単に議会からこういう項目ってだけやっちゃうと、表面的なものだけになっちゃうと思うので、どこだっけ、足立区だっけ。とりあえず食の改善としては減塩ということだけでやってるってまず言ってましたね。その一つの目標だと思うんです。

富山委員 例えばこの文言を同じようなことを意味するものであれば、例えば、成人病のリスクを下げるためにこういう教育をしていってくださいよっていうのも同じかなとは思いますが。成人病のリスクを下げるためにいろんなものをちょっと学習してってほしっていうのを入れればいいのかと思います。

委員長 食育の充実ということで。今言ったその具体例を少し入れて、まとめたいと思います。後ほど、まとめたものをまた皆さんにお諮りしますけれども。

次が設備の問題です。現状、給食センターは、もう建屋そのものはもう古くなってきているんですけど、何か設備費については、補修しながら、一説によると新しいのが入っているよねって話は聞いてます。

ただ、おいしい給食をこれからお願いしようとする場合についていうことも含めて、ここでは設備の充実ですね。今言いましたように施設の老朽化も出てきますけれども、少子化を踏まえつつ、設備や環境を充実させるということで、要望したいと思いますが。ということでよろしいですか。

(なし)

委員長 最後に費用、現在も1人当たり1,500円の補助を各児童生徒にさせていただいておりますけれども、給食の単価の見直しをお願いしたいと。本当に物価高騰も含めて、今の値段でいいのかなっていうのはありますので。

副委員長 今ここでいう単価って。

委員長 1人当たりの1日1食290円、260円小学生。

副委員長 いや、僕聞きたいのは、要するに、父兄が払う金なのか市が給食の食材費としてみている単価なのかどっちなのか。

委員長 市のほう。

副委員長 単価の補助額の見直し、やってるよね。そういう意味だったら。下に言っているのと変わらない。

榊原委員 8番の最後なんですけど、将来は無償化を目指すことってなるんですけど、これ果たして、どうなんですか。

鈴木委員 私は、今国のほうでも進められているということなので、地方自治体と国のほうで負担をして保護者負担をなくすっていうことには賛成しています。

榊原委員 基本的に考え方としてはこの間、視察行かせてもらった東京都の武蔵野市とか足立区とかって行ったと思うんですけど、そういう地方自治体の中で無償化を目指すっていう、狭い話じゃなくて大きな話でいいわけですね。であれば大丈夫です。

富山委員 これ私は、入れないほうがいいなと思ってて、これ入れちゃうと、全体がぼやけちゃう。こっちに、どうしても無償化してほしいというふうにいつちゃうのかなと思うから、今回は、別にこの部分に関して、研究したわけでもないですし、無償化について。だから、出すのであれば、国、県に対して、教育厚生常任委員会のほうで独自にちゃんと要望するのであればいいと思いますけど、市のほうに、将来は無償化を目指すことってというのは、私はこの時点で入れないほうがいいと思っております。

市の要望書としては、研究したテーマの中からちょっとずれますし、これが入るおかげでこれが1番の軸になっちゃうような気がして、これは本当給食の究極系ですから、だから1番やってほしいのはやまやまなんですけど、今回それをあえて外したわけですから、やっぱり市への要望としては今の給食をさらにおいしくするために、値段の単価を上げてください。人員を確保してください。設備をお願いしますよ。食材も不揃いのがちょっとあっても、地産地消をお願いしますよとかっていう要望のほうが、一貫性がある。これは本当お願いしたい部分なんですけど、無償化は。私は今の時点では入れないほうがいいって思っております。

以上です。

鈴木委員 富山委員のおっしゃったこと賛成なんですけど、そうしたら、7番の給食の単価の見直してというのは、それは市への要望だから、そこは入れましょうということで、よろしいですか。

(複数の発言あり)

副委員長 おっしゃることは分かったんですけど、その増額分を、どこに負担させる計画で要望するんですか。

(「市」と呼ぶ声あり)

副委員長 それはちょっとおかしい。

無償化と書かないまでも、8番の給食費保護者負担を減らすってというのは言ってもいいと思うよ。だって単価を見直すけど全部市が負担しろって言い方はちょっと変だよ。

市の負担を増やせって言わない中で、言わない中でですよ。

富山委員 その文言はいいですけど、保護者負担を軽減していただきたいとかっていう。

副委員長 無償化がなければいいということ。

富山委員 そうですね。

副委員長 そうしましょう。

無償化というテーマで、検討もしてないんですね。おっしゃるとおり。

(複数の発言あり)

委員長 費用については、給食の単価の見直しと、もう一つ、給食費の保護者負担軽減を考えてほしいということで、盛り込みたいと、そういう文言を盛り込めばいいですか。

(なし)

委員長 要望書については、今皆さん方からいただきました意見をもとに、ちょっと案をつくりまして、またお諮りしたいと思います。

案については、8月中に文面を作成しまして、皆様のところにはラインワークスで確認依頼をしたいと思います。最終的には9月の教育厚生常任委員会で決定としたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。

それで文面についてはどなたか書きますという方。

副委員長 委員長。

(複数の発言あり)

委員長 書いていただければありがたいです。

副委員長 委員長で。

委員長 委員長ということなので、文面については、正副委員長に一任ということでいいですか。

(なし)

委員長 そのように、こちらのほうでまとめたいと思いますので、8月中に作成しましたらラインワークスで報告したいと思います。

今日のオンラインの研修会については、後ほどまとめについては、ご案内いたします。

以上で本日の審議は全て終了いたしました。教育厚生常任委員会をこれで閉会といたします。

お疲れさまでした。

閉会（午後2時00分）

令和7年8月18日

那珂市議会 教育厚生常任委員会委員長 寺門 厚